



ききょう便り

令和3年 新年号(第64号)



ききょうの里の職員宿舎「地鎮祭」

「新しい年を迎えて」

監事 倉品 延恵

2021年、明けましておめでとうございます。コロナ禍で巣ごもり生活を強いられ、未だ終息の気配が見えない中、皆がさまざまな思いで新年を迎えられたことと思います。医療崩壊・クラスター発生などという言葉が頻繁に飛び交い言葉の重みをひしひしと感じています。そんな中、職員の方々におかれましては、感染者にならぬよう出さぬようにと日々努力してくださっていることに深く感謝申し上げます。



今年、ききょうの里では2月末に宿舎が完成し、研修を終えたベトナム人留学生が入居します。外国人留学生として初めての雇用です。相変わらずのマンパワー不足の中、一職員として力を発揮してくださることを期待しているところです。政府の三年に一度の介護報酬改定はプラス0.7%になりそうです。職員の待遇改善につながり、少しでも介護環境が良くなればと願っています。

さて、この世界的に拡大したコロナの影響を受け、予定されていたオリンピック・パラリンピックが延期されましたが、今年は開催できるよう祈ります。選手の生み出す筋書きの無いドラマは、今の私達により大きな感動を与えてくれるに違いありません。こんな話を聞きました。怪我で胸から下が動かなくなった娘に、母親は“笑顔は副作用の無い薬”と言ったそうです。その言葉を力に、カヌーで東京パラリンピックを目指す笑顔の美しい選手がいます。笑顔は力を生むのですね。ききょうの里でも玄関を入ると、編み物をしている利用者様と寄り添う職員の微笑ましい写真が飾ってあります。また、ききょう便りには毎回、季節や行事を楽しむ皆様の様子が載せられています。人とのつながり、ましてやそれが笑顔であったなら生きる力につながると信じます。

施設は、まちまちの心と体を抱える入居者、利用者様の人生の一部分を共有します。そこでの時間を安心して過ごしていただけるよう“笑顔の里”をめざしましょう。

社会福祉法人 桔梗会

特別養護老人ホームききょうの里
ききょうの里短期入所生活介護事業所
ききょうデイサービスセンター
ききょうの里居宅介護支援事業所
沼田市在宅介護支援センターききょう

〒378-0002
群馬県沼田市横塚町957番地2
TEL 0278-23-8831
FAX 0278-23-8832

ききょうデイサービスセンター岡谷
ききょうヘルパーステーション

〒378-0061
群馬県沼田市岡谷町687番地
TEL 0278-23-8861
FAX 0278-23-8852

発行責任者 堤 佳史

特別養護老人ホームききょうの里～従来型～

今年新型コロナウイルスの流行により、さまざまな外出行事が中止となってしまいました。そんな中、利用者様に春夏秋冬を感じていただける様、施設内で出来る行事やレクリエーションを行ってきました。その中からいくつかご紹介したいと思います。

花見

施設内に咲いている桜と一緒に写真を撮りました！味噌まんじゅうを振る舞い、みなさん大変喜ばれていました。



母の日

メッセージカードを一人ひとりにプレゼントしました。綺麗な花束と髪飾りをして、記念写真を撮りました。



父の日

あみだくじ大会にて様々なプレゼントをご用意。大当たりをされた利用者様は早速プレゼントを開けてクッションを使用したり、カップを使い、ノンアルコールビールやジュースを飲みながら楽しめました。



ききょうの里花火大会

今年は川場村花火大会が中止になった為、例年より多くの花火を購入。利用者様、職員共々笑いあいの楽しい花火大会となりました。



運動会

毎年紅組と白組に分かれて対抗戦を行っていましたが、今年はパン食い競争をしました。自分で捕ったパンを早速開けて召し上がっている方もいました。



クリスマス会

職員がサンタとトナカイになり、一緒に写真を撮りました。サンタからプレゼントを貰い、おやつのケーキとプリンを堪能されていました。



誕生日会

毎月、誕生日を迎えた利用者様のお祝いとして、色紙とプレゼントを用意しています。

昼食は調理職員が腕を振るって箱膳を作っており、利用者様の楽しみの一つになっています。



フォトアルバム(行事紹介)

ききょうデイサービスセンターでは、利用者様と職員で季節にちなんだ物を考えて作品を作りました。



ききょうデイサービスセンター岡谷では、切り干し大根と干し柿、干し芋を作りました。みんなで協力して作った物なのでより一層美味しく感じて頂けたと思います。



ききょうの里ユニット型では、毎月手作りおやつを作っています。クリスマスには職員がサンタクロースの格好をして利用者様にプレゼントを渡しました。



「ホームヘルパーとは・・・」

サービス提供責任者 芝宮 千代子
ホームヘルパーは、その名のとおり“自宅”で暮らす要介護者の日常生活の援助を行います。決められた時間に要介護者の自宅を訪問し必要な介護サービスを行います。どんなサービスを行うかは要介護の状態によって異なり、あらかじめケアマネジャーやサービス提供責任者と利用者様やご家族との間で相談の上決定されます。

訪問介護の仕事の一部である「生活援助」は家事代行に似た部分があります。その為家政婦やお手伝いさんと混同される場合がありますが、全く異なります。要介護度にもよりますが「できないからお世話する」ではなく、生活能力が低下しないようにできるだけご自分でできることはしていただく「自立支援」も目的になります。私たちの立つ位置はやってあげるところではなく、横に寄り添い自力で行うところを見守り当人の持てる力をいかに引き出すかがサービス提供のあるべき姿です。訪問介護は“要介護者の普段の暮らし”をサポートする介護の専門職なのです。「どのように支援したら、意欲的で自立した生活を叶えられるか」を考え、より良いサービスにつなげられるよう精進していきたいと思えます。サービスを行いながらちょっとした会話が精神的な支えとなり、「来てくれてよかったよ」「あなたに会えるのを待っていたわ」・・・と利用者様の喜びの言葉と笑顔は、このうえないやりがいとなり、私達の毎日をも豊かにしてくれます。

「幸せに生きる考え方」

在宅福祉1課長 原澤 禎

皆様はアルフレッド・アドラーという人物をご存知でしょうか？ウィキペディアによると、オーストリア出身の精神科医、心理学者、社会理論家で、パーソナリティ理論や心理療法を確立した1人だそうです。私は恥ずかしながらこれまで知らず、先日、子供が借りてきた本で初めて知りました。

人は生まれた環境や条件、過去の失敗、トラウマ等に影響されがちです。私も「以前失敗したから、また失敗してしまうかも」と、うまくいかない原因を探して自分にダメ出しをして、次の行動が消極的になることが多々あります。しかし、アドラーは、もって生まれたものを今ここからどう生かすのか、以前失敗したとしても今ここからどうスタートをするか。過去ではなく“今ここから”どうするかに焦点を当てたとても前向きな考えの持ち主で、それらの考えが名言として多く残っています。

子供が借りたアドラーの名言が書かれた本を何気なしに読んだところ「日常の生活で悩んでいる際に、どうやってそれを乗り越えていくか」その答えのヒントがたくさん詰まっていました。仕事や家事、育児、さらにはコロナ禍で大変な状況の中、これまでよりストレスや悩みが増えた方は試しに読んでみてはいかがでしょうか？きっと自分に合った名言が見つかると思います。

～“アドラーの名言”の一例を紹介～

- ◆「やる気がなくなった」のではない。「やる気をなくす」という決断を自分でしただけだ。「変わらない」のではない。「変わらない」という決断を自分でしているだけだ
- ◆健全な人は、相手を変えようとせず自分が変わる。不健全な人は、相手を操作し、変えようとする
- ◆判断に迷ったら、より多くの人間に貢献できる方を選べばいい。自分よりも仲間たち、仲間たちよりも社会全体。この判断基準で大きく間違えることは、まずないだろう
- ◆子供は親が貼ったレッテル、たとえば「しっかりした子」「甘えん坊」「おてんば」「恥ずかしがり屋」などに対して過剰に応えようと努力する
- ◆間違いを指摘せず、原因研究という吊し上げもせず、「こんなやり方はどうかな？」と提案する。それこそが、相手を育てる有効な方法である

「ききょうの里職員宿舎の建設状況」

令和2年10月14日に「地鎮祭」が行われ、令和2年12月1日より建設を着工し、令和3年2月末に完成予定となっております。現在の建設状況は、屋根が完成し部屋の建具やユニットバスなどの取り付け工事を行っており順調に進んでいます。4月にはベトナム人留学生4名が入居する予定となっているので今から楽しみです。

職員宿舎の名称は職員に募集した中から理事長に決めて頂きました。楽しくみんなで協力し合って生活して欲しいという願いから『LIFE』に決定しました。



★今後の予定★

特別養護老人ホームききょうの里（従来型・ユニット型）・ききょうデイサービスセンター・ききょうデイサービスセンター岡谷の行事は、新型コロナウイルスの影響の為、当面の間自粛させていただきます。

★編集後記★

明けましておめでとうございます。コロナ禍でいつもとは違う年明けを迎えられたことと思いますが、いつも通りの生活が送れるよう皆で協力して乗り切りましょう。

施設では、引き続き面会が出来ない状況が続きます。ご家族の皆さまにご不便をお掛けしておりますが、ご協力をお願いいたします。ご不明な点がございましたらご連絡を頂ければと思います。職員一同利用者様の健康を考え、感染対策に努めて参りますので今後とも宜しくをお願いいたします。

総務課 高橋 由香里

